

2019年12月6日

各位

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループが発行する 国内外貨建て公募ソーシャルボンドの引受けについて

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社(取締役社長 荒木 三郎、以下当社)は、このたび、株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ(以下、MUFG)が、発行するソーシャルボンド⁽¹⁾(10年債 90百万米ドル)(以下、本件ソーシャルボンド)の引受けにおいて、単独主幹事および Social Bond Structuring Agent⁽²⁾を務め、本日、同ソーシャルボンドの条件が決定されたことをお知らせします。

本件は本邦の金融機関として初となる国内外貨建て公募債形式のソーシャルボンドとなります。

MUFG は、金融機関の使命として、長期的な視点で、お客さまや社会と末永い関係を築き、共に持続的な成長を実現することを経営ビジョンに掲げ、その実現に向けて取り組んでいます。その中で、「地球温暖化・気候変動」への対応を、国連が採択した持続可能な開発目標(SDGs)⁽³⁾などから MUFG が優先的に取り組むべき「環境・社会課題」として特定した 7 つの課題の一つとして定め、持続可能な環境・社会の実現に貢献する取り組みを進めています。本件ソーシャルボンドの発行は、資本市場を通じた社会課題への取り組みを強化するもので、持続可能な環境・社会の実現に貢献することをめざす MUFG の取り組みの一環です。

本件ソーシャルボンドにより調達した資金は、MUFG の連結子会社である株式会社三菱 UFJ 銀行に対する融資を通じて、震災、台風等の災害からの復興に寄与する融資、国内外の公的病院、国内の社会医療法人および社会福祉法人が運営する国内病院への融資、公立学校への融資およびイングランドの公共住宅当局に登録された公共住宅供給業者向けへの融資に充当される予定です。

2006 年に国連責任投資原則(PRI: Principles for Responsible Investment)が制定されて以来、世界の ESG⁽⁴⁾投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。当社は引き続き、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESG をテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本件ソーシャルボンドの概要)

債 券 名 : 株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ第 2 回米ドル建無担保社債
(担保提供制限等財務上特約無・指定金融機関等限定) (ソーシャルボ
ンド)

発行フォーマット : 国内外貨建て公募債

年 限 : 10 年債(2029 年 12 月 12 日償還)

通 貨 : 米ドル建て

発 行 額 : 90 百万米ドル

利 率 : 2.847%/年

払 込 期 日 : 2019 年 12 月 12 日

主 幹 事 : 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

Social Bond Structuring Agent : 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

本件ソーシャルボンドの適格性については第三者認定機関である Sustainalytics 社よりセカンドパーティ・オピニオンを取得し、国際資本市場協会(ICMA: International Capital Market Association)が公表する「ソーシャルボンド原則(GBP) 2018」の基準を満たす発行に該当すること確認しております。

- (1) ソーシャルボンドとは、債券の発行代わり金の資金使途が、社会課題の解決に資するプロジェクトに限定されている債券。
- (2) ソーシャルボンドのフレームワークの策定およびセカンドパーティ・オピニオン取得の助言等を通じて、ソーシャルボンドの発行支援を行う者。
- (3) 2015 年 9 月の国連サミットで採択された国際目標。持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成される。
- (4) 環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の英語の頭文字を合わせた言葉。

以上